



環境検査

エコアクション21

認証番号 0010899

昭和建設株式会社

環境経営レポート

2022年度

(対象期間 2022年8月～2023年7月)



2023年9月30日発行

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

昭和建設株式会社 代表取締役 入角 博道

2) 所在地

東京都府中市八幡町1丁目17番14

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 常務取締役 富田 琢也
 担当者 総務課 今元 理恵子
 連絡先 電話 042-363-2168
 FAX 042-365-5785

電子メール

imamoto@e-shouwa.com

ホームページ

<http://www.e-shouwa.com/>

産廃情報ネット

http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u2.php?UserID=220598

4) 事業内容

一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業
 建設業

5) 事業の規模

(8月～7月)

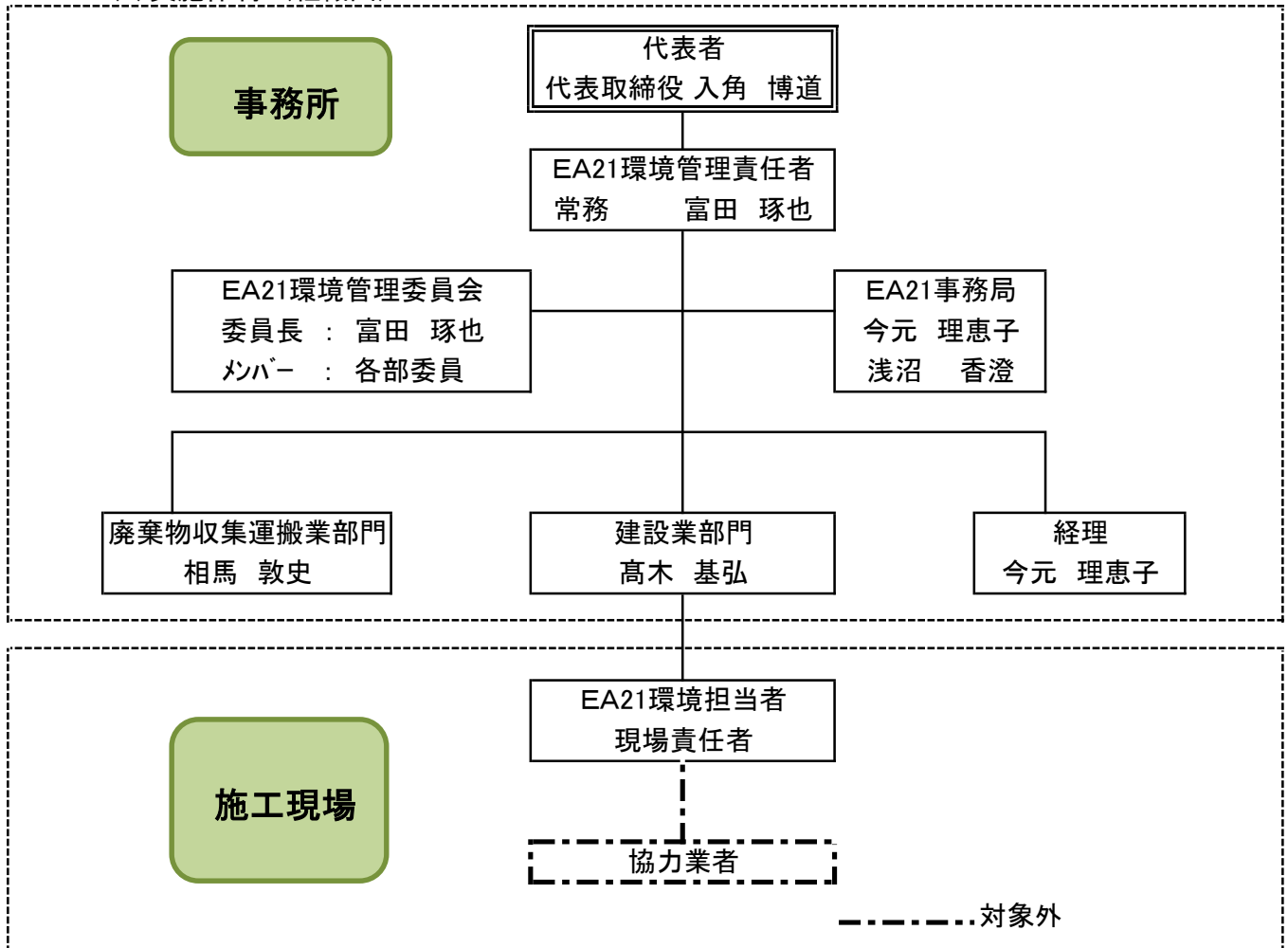
事業規模		単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
一般廃棄物排出量		Kg	557	536	529	500	513	502
受託した廃棄物収集運搬量		t	881	1,244	707	693	549	623
廃棄物収集 売上高		百万円	163	141	127	178	183	227
工事等の件数		件	34	59	54	61	56	39
建設業 売上高		百万円	495	497	515	611	517	476
建設業 産業廃棄物		kg	1,572	25	2,167	28	85	100
従業員数		人	38	39	39	39	39	40
床面積		m ²	338	338	338	338	338	338
CO ₂ 減 項目	電気 使用量	kwh	7,789	7,396	7,565	6,297	6,130	6,067
	ガソリン 使用量	L	6,166	6,984	7,076	7,554	7,195	3,892
	軽油 使用量	L	11,936	11,104	10,792	11,183	8,901	10,374
	水 使用量	m ³	280	345	238	230	211	216
	年間 CO ₂ 排出量	Kg-CO ₂	49,331	48,861	48,336	49,243	40,444	35,794

6) 事業年度

8月～7月

7) 情報公表項目

(1) 法人設立年月日 昭和44年12月1日 設立
 (2) 資本金 2000万円
 (3) 実施体制 (組織図) 別紙-1
 (4) 許可一覧 別紙-2



役割	責任及び権限
代表者 (経営者)	1. 環境経営方針の作成、全従業員に周知（要求事項2） 2. 経営の課題とチャンスとの明確化（要求事項3） 3. 実施体制の構築、各自の役割・責任及び権限を定め全従業員に周知（要求事項7） 4. 代表者による全体の評価と見直し・指示（要求事項14）
環境管理責任者 EA21環境管理委員会 (EA21事務局)	1. 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価（要求事項3：事務局担当） 2. 環境関連法規の取りまとめ（要求事項4：事務局担当） 3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定（要求事項5） 4. 環境経営システムに対する実務責任及び代表者への状況報告（要求事項6） 5. 環境コミュニケーションの実施（要求事項8） 6. 全体の取組状況の確認及び問題の是正及び予防（要求事項12） 7. 環境関連文書及び記録の作成・管理（要求事項11：事務局担当） 8. 環境経営レポートの作成・公表（事務局担当）、確認（環責）
部門責任者 (担当者)	1. 教育・訓練の実施（要求事項7） 2. 実施及び運用一関連手順書作成及び運用管理（要求事項9） 3. 環境上の緊急事態への準備及び対応一関連手順書作成、試行・訓練（要求事項10） 4. 部門の取組状況の確認及び問題の是正及び予防（要求事項12）
全従業員 (協力会社)	環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚し、決められたことを守り、自主的・積極的に環境改善に取り組む

改版履歴

版数	年月日	改定理由	承認	作成者
Ver.1	2015年3月1日	制定	富田	今元
Ver.2	2015年12月1日	建設業をの追加したため	富田	今元
Ver.3	2018年10月1日	EA21事務局の人員を1名追加したため	富田	今元
Ver.4	2020年11月11日	代表者の責任及び権限の訂正	富田	今元

(4)許可一覧

別紙-2

一般廃棄物収集運搬・産業廃棄物収集運搬業

許可 地区	許可区分	許可番号	許可 年月日	有効 期限
	廃棄物の種類			
東京都	産業廃棄物収集運搬業 (積替え保管を除く)	第13-00-019270号	2023年6月1日	2030年5月31日
	汚泥、廃プラスチック類、 木くず、繊維くず、金属くず、 ガラス・コンクリート・陶磁器くず、 がれき類			
栃木県	産業廃棄物収集運搬業 (積替え保管を除く)	第00900019270	2023年9月15日	2030年9月14日
	廃プラスチック類			
神奈川県	産業廃棄物収集運搬業 (積替え保管を除く)	第01403019270	2017年3月30日	2024年3月29日
	汚泥、廃プラスチック類、 木くず、繊維くず、金属くず、 ガラス・コンクリート・陶磁器くず、 がれき類			
府中市	一般廃棄物収集運搬業 (積替え保管を除く)	3府生ご許可第18号	2022年3月26日	2024年3月25日
	事業系一般廃棄物(可燃ごみ)			

※ 積替え保管施設はありません

建設業

許可	許可区分	許可番号	許可 年月日	有効 期限
	業種の種類			
東京都	特定建設業	許可(特-3) 第75865号	2022年2月7日	2027年2月6日
	土木工事業 とび・土工工事業 石工事業 鋼構造物工事業 舗装工事業 しゅんせつ工事業 塗装事業 造園工事業 水道設備工事業			

(5)運搬車両・工事車輛の種類と台数

車両種類	台数
コンテナ車(2t)	1
コンテナ車(4t)	2
ユニック車(2t)	2
塵芥車(3.5t)	1
ショベル	1
ユンボ	1
トラクター	2

(6)処理実績:1.組織の概要の5)事業の規模に記載

2. 対象範囲(認証・登録の範囲)

認証・登録番号 : 0010899
 認証・登録事業者 : 昭和建設株式会社
 東京都府中市八幡町1-17-14
 事業活動 : 一般廃棄物収集運搬・産業廃棄物収集運搬業、建設業
 認定・登録日 : 2015年11月26日
 更新・登録日 : 2021年11月26日
 有効期限 : 2023年11月25日

環境経営方針

1.基本理念

昭和建設株式会社は、一般廃棄物収集運搬業 産業廃棄物収集運搬業 建設業
その他全ての経営及びサービスの環境影響を低減するために、環境経営システムの継続的改善を図り、地球環境との調和を目指します。

今後、更に環境を配慮した企業に成長するため、EA21環境経営システムを導入し、
地域及び地球環境保全の重要性を強く認識しながら毎日の事業経営を推進してまいります。

2.環境経営指針

事務所・廃棄物収集運搬業

1)以下の項目に環境目標を設定し、環境経営に取り組めます。

- (1) 二酸化炭素排出量の削減 (電気使用量の削減)
(ガソリン使用量の削減)
(軽油使用量の削減)
- (2) 廃棄物排出量の削減 (ゴミの分別・再利用・再資源化促進)
- (3) 水使用量の削減 (節水活動)

建設業

1)以下の項目に環境目標を設定し、協力会社と共に環境経営に取り組めます。

- (1) 施工時の環境改善 (環境に配慮した建設重機の使用)
- (2) 二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン使用量の削減)
(軽油使用量の削減)
- (3) 建設廃棄物のリサイクル推進 (建設副産物の分別・再資源化の実施)

2)当社の経営及びサービスに関わる環境関連の法的及びその他の要求事項を遵守します。

3)一人ひとりが環境に関する教育・講習を通し意識を高め、環境負荷低減経営を積極的に取り組めます。

4)この環境方針を全従業員に周知するとともに、一般の人々が入手できるようにします。

制定 2015年 3月 1日

改定 2018年 8月 1日

改定 2020年 11月11日

昭和建設株式会社
代表取締役 入角 博道

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に關係する環境関連法規等は下記の通りですが、下記のように遵守状況を2023年7月に確認した結果、違反はありませんでした。
また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。

I. 遵守義務のある法規関係

遵守状況確認・評価日：2023/7/31

区分	環境関連法規等名称	法令条項	法規制等要求事項	当社該当事項	遵守事項等	管理部署 責任者	遵守状況確認・評価		
							チェック日	結果	
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (一般廃棄物の処理)	法6の2	①事業系一般廃棄物の処理。 ・市町村が行う一般廃棄物の収集、運搬行政に協力しなければならない。(適正分別等) ・一般廃棄物の運搬、処分を委託する場合は、許可を取った一般廃棄物運搬業者、環境省令で定める処分業者に委託	一般廃棄物の 処理委託	①一般廃棄物を適正に分別し、保管 ②区条例に従って排出又は環境省令で定めるもつぱら物回収業者に委託 ③大量に排出する場合は、許可を取った一般廃棄物収集運搬業者に委託	相馬	7月31日	遵守	
	廃棄物処理法 (一般廃棄物の収集運搬業)	法7	①地域市町村の許可を受けなければならない ②一般廃棄物処理基準に即した処理 ③再委託の禁止 ④環境省令で定める帳簿記載と保管	一般廃棄物の 収集運搬業	①事業を行う地域の区長、市長の許可を取る ②政令で定める期間(2年)ごとに更新する ③一般廃棄物処理基準に従い、収集、運搬又は処分を行う ④一般廃棄物の収集若しくは運搬又は処分を他人に委託しない ⑤収集又は運搬年月日、収集区域又は受入先、運搬方法及び運搬先ごとの運搬量を毎月末までに記載する ⑥帳簿は、一年ごとに閉鎖し、閉鎖後5年間事業場ごとに保存する	相馬	7月31日	遵守	
	府中市環境基本条例	条7	①環境負荷の低減、自然環境の保全			①発生抑制、減量化、リサイクル等推進 ②環境保全活動に協力	相馬	7月31日	遵守
	府中市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	条5	①排出の抑制、再利用による原料、適正処理			①減量化、再資源化 ②適正処理及び清潔保持を図る	相馬	7月31日	遵守
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (廃棄物の適正処理)	法12. 5~7 令6の2.3	①収集運搬、処分事業者と産業廃棄物処理委託基準に従って二者間委託契約 ②契約書記載事項 ・種類、数量、性状、荷姿、最終処分地、金額	産業廃棄物の 処理委託	①許可を受けた収集運搬・中間処理事業者との委託契約締結。契約書は契約終了後5年間保管。 ・委託事業者の事業区分、品目、取扱地県等の許可、許可期限等の許可条件確認(許可証の写し添付) ②記載事項確認、また定期的確認 ・許可期限の確認(許可証写しの再提出)	相馬	7月31日	遵守	
		法12の3	①廃棄物管理票の交付・保管(環境省令に定める期間) ②管理交付者は、環境省令で定めるところにより当該管理票に関する報告を作成し、都道府県知事に提出	産業廃棄物の 処理委託 (マニフェストの交付・処理状況確認・遅延報告・保存・交付等状況の報告)	①産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付 ②マニフェスト返送日の確認、記録、保管 ③処理困難通知を処理委託先から受けた場合及び交付マニフェストのB2・D票は 90日以内、E票は180日以内に返却されない場合は、30日以内に知事へ報告 ④交付マニフェスト(A票、B2票、D票、E票)の5年間保管 ⑤産業廃棄物管理票交付状況報告書(毎年6月末迄)提出、写し保管	相馬	7月31日	遵守	

区分	環境関連法規等名称	法令条項	法規制等要求事項	当社該当事項	遵守事項等	管理部署	遵守状況確認・評価	
						責任者	チェック日	結果
廃棄物	廃棄物処理法 (産業廃棄物の収集運搬)	法12 法14	①産業廃棄物収集運搬許可証の取得 業務範囲の変更は、許可変更届 ②政令で定める期間ごとに更新 ③許可を受けた業者は、産業廃棄物処理基準に従う ④業務不能な場合は環境省令に書面通知 ⑤収集運搬を他人に委託してはならない ⑥廃棄物管理票(マニフェスト)の回付・保管 (環境省令に定める期間)	産業廃棄物の 収集運搬業	①事業を行う区域を管轄する都道府県知事の許可を取る ②政令で定める期間(5年・7年)ごとに更新する ③産業廃棄物処理基準に従い、収集、運搬を行う ④現に委託を受けている産業廃棄物の収集、運搬を行う ことが困難となる事由が生じたときは、10日以内に、そ の旨を当該委託をした者に書面により通知する 当該通知の写しを当該通知の日から5年間保存 ⑤産業廃棄物の収集、運搬を他人に委託しない ⑥事業場に帳簿を備え、以下を記載する 1)収集運搬年月日 2)交付された管理票ごとの管理票交付者の氏名又は名称 3)交付年月日・交付番号(交付又は回付から10日以内) 4)受入先ごとの受入量、運搬方法・運搬先ごとの運搬量 ⑦帳簿は、1年ごとに閉鎖し、後5年間事業場ごとに保存 ⑧収集運搬終了後のマニフェストの写しの送付(10日以内) ⑨マニフェストの交付を受けずに廃棄物の引渡しを受けない ⑩交付マニフェスト(B1票、C2票)の5年間保管	相馬	7月31日	遵守
	* 廃棄物処理法省令等改正 (水銀関係)	H27 政令 367号	①許可証明記「水銀使用製品産業廃棄物を含む」		①許可 変更届にて水銀明記・・・東京都 ②許可 更新時2024.3.29に明記・・・神奈川県			
廃棄物・ 建設業	オフロード法	法18条1項 法29条2項	①排気ガス基準を満たす基準適合	産業廃棄物 収集運搬業	①年次点検・記録簿	富田	7月31日	遵守
	道路交通法 改正 道路交通法	法105号 9条 10第6	①道路における危険を防止・その他交通の安全と円滑化 ②目視等でのアルコールチェックの義務化 R4/1より ③検知器でのアルコールチェックの義務化 R4/10より		①乗務員教育・記録簿 ②記録簿の作成 記録 保管1年			
	道路運送車両法	第4条～ 76条	①所有権の公証 ②安全性の確保・公害防止・環境保全のための整備 (車検)		①車検の更新・保険の更新			
建設業	建設リサイクル法	第16条	①建設工事に係る資材の再資源化等	建設業の 工事	①再資源化等の促進 ②発注者への報告を行う	高木	7月31日	遵守
	騒音規制法 振動規制法	政令2.3	①施工現場毎の適正な規制基準の遵守 (届出・報告)		①指定された低騒音・低振動型建設機械の使用する ②舗装版破砕機の作業距離の規制を遵守する			
	建設副産物適正処理推進要綱		①副産物の再資源利用、促進 (届出・施工計画・報告) ・発生の抑制 ・再使用及び再生利用		①副産物の施工計画・完了報告を行う			
	建設廃棄物処理マニフェスト		①建設業管理票(マニフェスト)の回付・保管		①マニフェストの交付・それに基づく適正処理の実施			
	石綿障害予防規則	厚生労働省 令第21号	①事前に法令に基づく石綿(アスベスト)の使用の有無の 調査(事前調査)義務		①石綿の有無の事前調査結果の報告(2022.4/1より)			
	労働安全衛生法	60条	職長その他の作業中の労働者を直接指導又は監督者		①職長・安全衛生責任者教育の資格取得			
					高木	7月31日	無し	
					高木	7月31日	遵守	

区分	環境関連法規等名称	法令条項	法規制等要求事項	当社該当事項	遵守事項等	管理部署	遵守状況確認・評価	
						責任者	チェック日	結果
資源循環 (リサイクル)	パソコンリサイクル法	法4	①メーカーによる回収再資源化	パソコン廃棄	①事業者の責務 (再生資源及び再生部品の利用)	富田	7月31日	無し
	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	法6	①特定家庭用機器を長期間使用、廃棄物として排出の場合は適切に引き渡し、料金支払い ブラウン管・液晶・プラズマテレビ、冷蔵冷凍庫、洗濯機、ユニット型エアコン、衣類乾燥機に適切	テレビ 冷蔵庫 ユニットエアコンの廃棄	①特定家庭用機器排出した場合、料金を支払い、適切に引き渡す。また、特定家庭用機器廃棄物管理票の写しを受取1年間保管、または、産業廃棄物管理票を交付している場合は、廃棄物処理法に従う	富田	7月31日	R5.6/10 エアコンの取替に伴う廃棄業者引取 (有山電機工事)
	使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	法8	①自社使用済み自動車をリサイクル法に基づいて処分	自社自動車の廃棄	①自社使用済み自動車のリサイクル処分	富田	7月31日	無し
大気汚染	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法 (自動車NOx・PM法)	法6 法12	①対策地域 首都圏:東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県 ②対象自動車 ・対策地域内に使用の本拠がある車両 ・対象車種(ナンバープレート分類番号) 普通トラック(1.10~19、100~199) 小型トラック(4、40~49、400~499) ディーゼル乗用車 ③「自動車NOx・PM法適合車」の認定	トラック、 ディーゼル	排ガス基準適合車の使用 対象自動車6台 認定6台	富田	7月31日	R4.10 車両入替 売却 ・100い5238 ・100い5309 購入(イスズ) ・101あ1502 ・101あ1503 法適合車確認
	フロン排出抑制法	法16	①第一種特定製品の管理者の判断基準	業務用 エアコン	①すべての第一種特定製品を対象とした簡易点検の実施(3カ月に1度) ②第一種特定製品の点検・修理・回収等の履歴を記録保管(機器廃棄後3年間保管)	富田	7月31日	3カ月毎の点検 記録実施
		法74	①第一種特定製品排気塔実施者の役割		①第一種特定製品の廃棄等の際には、フロンの回収・再生・破壊等に必要となる費用の負担			無し
グリーン購入	国等による環境物品等の調達 の推進等に関する法律	法5	①事業者及び国民は、できる限り環境物品等 を選択するよう努めるものとする。	物品購入	①環境にやさしい原材料の利用 ②エコ商品選択購入	富田	7月31日	遵守
その他	労働安全衛生法(安衛法)	第65条 第66条 規則	①労働者に対する健康診断 ②作業環境管理	従業員	①作業環境測定、作業の管理、健康診断 ①「石綿則」の遵守	富田	7月31日	遵守 R3.9.13 健康診断実施
その他の 要求事項	東京競馬場		①入札参加資格適合証明	廃棄物収集運搬委託	①環境/CSR報告書の作成・公表 ②優良適正(遵法性)	富田	7月31日	遵守
	貨物自動車運送事業法	第1条	①事業の適正化・合理化・運輸の安全確保	営業車	①輸送の安全を確保 ②公共の福祉の増進に資する ③運転者への安全教育・管理	富田	7月31日	遵守
	労働省労働基準局通達	60号	①機械式ごみ収集車に係る安全管理要綱	塵芥車	①定期自主検査 記録3年保管	富田	7月31日	遵守

2. 責務(努力義務)のある法規関係

区分	環境関連法規等名称	法令条項	法規制等要求事項	当社該当事項	遵守事項等	管理部署 責任者	遵守状況確認・評価	
							チェック日	結果
基本 ・ 一般	環境基本法	法8	①事業者の責務(公害防止、廃棄物への対応、リサイクル、行政への協力)			富田	7月31日	遵守
	地球温暖化対策の推進に関する法律	法5	①事業者の責務(温室効果ガス排出の抑制に努める及び行政への協力)…実際の規制は「省エネ法」による			富田	7月31日	遵守
	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律	法4	①事業者の責務(環境保全活動及び環境教育を行う、また協力)			富田	7月31日	R3/12/15 環境教育実施
	(環境配慮促進法)	法4	①事業者の責務(環境情報の提供)			富田	7月31日	無し
	下水道法 水質汚濁防止法	第3・4条	①人の健康被害の生ずる物質を排出しない			富田	7月31日	遵守
資源循環 (リサイクル)	循環型社会形成推進基本法	法7	[資源の循環的利用及び処分の基本原則] ①再使用 ②再生利用 ③熱回収 ④最終処分	廃棄物の抑制、リサイクル・中古品の使用	①再使用(コピー用紙の裏紙) ②再資源の分別	富田	7月31日	遵守
		法11	[事業者の責務] ①原材料等が廃棄物になることの抑制 ②製品、容器等耐久性向上による廃棄物抑制 ③製造者が製品を引き取り循環利用 ④循環資源の事業活動での循環利用 ⑤再生品の利用に努める。					
	資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	法11	[資源有効利用の基本] ①廃棄物の発生抑制(Reduce) ②部品等の再利用(Reuse) ③原材料としての再利用(Recycle)	3Rの推進	①3R原則の教育と実践	富田	7月31日	遵守
	小型家電リサイクル法	法57	①再資源化の促進による有効利用	小型家電の回収	①各自治体及び排出者より依頼があった場合は正当な理由がある場合を除き 回収し、適正処理をしなければならない	富田	7月31日	遵守
自然保護	自然環境保全法	法2	①自然環境の保全を図るよう努める			富田	7月31日	遵守

* 見直し改訂日: 2017年10月1日 廃棄物処理法省令等改正 (水銀関係)
 2022年4月1日 道路交通法 改正 (アルコールチェック)
 2022年4月1日 石綿障害予防規則 (石綿報告)
 2023年1月6日 職長 教育と労働安全衛生法60条 (資格取得)
 2023年6月6日 塵芥車の安全管理要綱 (点検記録)

環境経営目標 (2020年度～2022年度の中期目標)

作成年月日:2020年 8月1日

No	環境方針項目	環境目標項目	基準値(8～7月) (2019年度実績)	CO2 換算係数	年度目標				
					2020年度	2021年度	2022年度		
事務所 廃棄物収集運搬業	1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量 7,565 kWh/年	0.455	基準値に対し 1 %削減 7,489 kWh/年以下	基準値に対し 2 %削減 7,414 kWh/年以下	基準値に対し 3 %削減 7,338 kWh/年以下	
			2) ガソリン使用量の削減	燃料使用量 ガソリン 4,227 L/年	2.32	基準値に対し 1 %削減 ガソリン 4,185 L/年	基準値に対し 2 %削減 ガソリン 4,142 L/年	基準値に対し 3 %削減 ガソリン 4,100 L/年	
			3) 軽油使用量の削減	燃料使用量 軽油 9,535 L/年	2.58	基準値に対し 1 %削減 軽油 9,440 L/年	基準値に対し 2 %削減 軽油 9,344 L/年	基準値に対し 3 %削減 軽油 9,249 L/年	
			計(kg-CO ₂)	電力 3,442 ガソリン 9,807 軽油 24,600 合計 37,849 kg-CO ₂ /年		電力 3,408 ガソリン 9,708 軽油 24,354 合計 37,470 kg-CO ₂ /年以下	電力 3,373 ガソリン 9,611 軽油 24,108 合計 37,092 kg-CO ₂ /年以下	電力 3,339 ガソリン 9,512 軽油 23,862 合計 36,714 kg-CO ₂ /年以下	
	2	廃棄物排出の削減	ゴミの分別・再利用・再資源化促進	廃棄物排出量 529 kg/年		基準値に対し 1 %削減 524 kg/年以下	基準値に対し 2 %削減 518 kg/年以下	基準値に対し 3 %削減 513 kg/年以下	
	3	水使用量の削減	節水活動	水使用量 238 m ³ /年		基準値に対し 1 %削減 236 m ³ /年	基準値に対し 2 %削減 233 m ³ /年	基準値に対し 3 %削減 231 m ³ /年	
	建設業	1	施工時の環境改善	環境に配慮した建設重機の使用 <低騒音・低振動・排ガス対策の重機使用>	現場每実施		現場每実施 100%	現場每実施 100%	現場每実施 100%
		2	二酸化炭素排出量の削減	1) ガソリン使用量の削減	燃料使用量 ガソリン 2,849 L/年	2.32	基準値に対し 1 %削減 ガソリン 2,821 L/年	基準値に対し 2 %削減 ガソリン 2,792 L/年	基準値に対し 3 %削減 ガソリン 2,764 L/年
				2) 軽油使用量の削減	燃料使用量 軽油 1,257 L/年	2.58	基準値に対し 1 %削減 軽油 1,244 L/年	基準値に対し 2 %削減 軽油 1,232 L/年	基準値に対し 3 %削減 軽油 1,219 L/年
				計(kg-CO ₂)	ガソリン 6,610 軽油 3,243 合計 9,853 kg-CO ₂ /年		ガソリン 6,544 軽油 3,211 合計 9,754 kg-CO ₂ /年以下	ガソリン 6,477 軽油 3,178 合計 9,656 kg-CO ₂ /年以下	ガソリン 6,411 軽油 3,146 合計 9,557 kg-CO ₂ /年以下
3		建設廃棄物のリサイクル推進	建設副産物の分別・再資源化の実施	現場每実施		現場每実施 リサイクル率100%	現場每実施 リサイクル率100%	現場每実施 リサイクル率100%	

環境方針項目	環境目標項目	基準値(8~7月) (2019年度実績)	CO2 換算係数	年度目標			
				2020年度	2021年度	2022年度	
全社合計	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量	0.455	基準値に対し 1%削減 7,489 kWh/年以下	基準値に対し 2%削減 7,414 kWh/年以下	基準値に対し 3%削減 7,338 kWh/年以下
			7,565 kWh/年				
		2) ガソリン使用量の削減	ガソリン使用量	2.32	基準値に対し 1%削減 ガソリン 7,005 L/年	基準値に対し 2%削減 ガソリン 6,934 L/年	基準値に対し 3%削減 ガソリン 6,864 L/年
			ガソリン 7,076 L/年				
		3) 軽油使用量の削減	燃料使用量	2.58	基準値に対し 1%削減 軽油 10,684 L/年	基準値に対し 2%削減 軽油 10,576 L/年	基準値に対し 3%削減 軽油 10,468 L/年
			軽油 10,792 L/年				
		計(kg-CO ₂)	電力		電力 3,408	電力 3,373	電力 3,339
			ガソリン		ガソリン 16,252	ガソリン 16,088	ガソリン 15,924
			軽油		軽油 27,565	軽油 27,286	軽油 27,008
			合計	47,702 kg-CO ₂ /年	合計 47,225 kg-CO ₂ /年以下	合計 46,748 kg-CO ₂ /年以下	合計 46,271 kg-CO ₂ /年以下

※ 化学物質は使用していないので、環境目標は設定していない。

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数 : 2018年度実績 東京電力エナジーパートナー(株) 調整後排出係数0.455(kg-CO₂/kwh)

※ 建設業の購入電力・水の使用量・廃棄物量については、下記の理由のため把握が困難なため、目標及び数値化していない。

1、発注元の施設の使用

2、下請業者との契約条項による(下請業者の使用・処分のため)

2023年度

環境経営目標設定書

承認

作成

⑤. 環境経営目標 (2023年度～2025年度の中期目標)

作成年月日:2023年 8月1日

富田

今元

No	環境方針項目	環境目標項目	基準値(8～7月) (2022年度実績)	CO2 換算係数	年度目標			
					2023年度	2024年度	2025年度	
事務所 廃棄物収集運搬業	1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量 6,067 kWh/年	0.000	基準値に対し 0.5 %削減 6,037 kWh/年以下	基準値に対し 1 %削減 6,006 kWh/年以下	基準値に対し 1.5 %削減 5,976 kWh/年以下
			2) ガソリン使用量の削減	* ガソリン 3,217 L/年	2.32	基準値に対し 0.5 %削減 ガソリン 3,201 L/年	基準値に対し 1 %削減 ガソリン 3,185 L/年	基準値に対し 1.5 %削減 ガソリン 3,169 L/年
			3) 軽油使用量の削減	燃料使用量 軽油 8,849 L/年	2.58	基準値に対し 0.5 %削減 軽油 8,805 L/年	基準値に対し 1 %削減 軽油 8,761 L/年	基準値に対し 1.5 %削減 軽油 8,716 L/年
			計(kg-CO ₂)	電力 0 ガソリン 7,463 軽油 22,830 合計 30,294 kg-CO ₂ /年		電力 0 ガソリン 7,426 軽油 22,716 合計 30,142 kg-CO ₂ /年以下	電力 0 ガソリン 7,389 軽油 22,602 合計 29,991 kg-CO ₂ /年以下	電力 0 ガソリン 7,351 軽油 22,488 合計 29,839 kg-CO ₂ /年以下
	2	廃棄物排出の削減	ゴミの分別・再利用・再資源化促進	廃棄物排出量 502 kg/年		基準値に対し 0.5 %削減 499 kg/年以下	基準値に対し 1 %削減 497 kg/年以下	基準値に対し 1.5 %削減 494 kg/年以下
	3	水使用量の削減	節水活動	水使用量 216 m ³ /年		基準値に対し 0.5 %削減 215 m ³ /年	基準値に対し 1 %削減 214 m ³ /年	基準値に対し 1.5 %削減 213 m ³ /年
	1	施工時の環境改善	環境に配慮した建設重機の使用 <低騒音・低振動・排ガス対策の重機使用>	現場毎実施		現場毎実施		
						100%		
						現場毎実施		
						100%		
2	二酸化炭素排出量の削減	1) ガソリン使用量の削減	燃料使用量 ガソリン 1,303 L/年	2.32	基準値に対し 0.5 %削減 ガソリン 1,296 L/年	基準値に対し 1 %削減 ガソリン 1,290 L/年	基準値に対し 1.5 %削減 ガソリン 1,283 L/年	
		2) 軽油使用量の削減	燃料使用量 軽油 1,525 L/年	2.58	基準値に対し 0.5 %削減 軽油 1,517 L/年	基準値に対し 1 %削減 軽油 1,510 L/年	基準値に対し 1.5 %削減 軽油 1,502 L/年	
		計(kg-CO ₂)	ガソリン 3,023 軽油 3,935 合計 6,957 kg-CO ₂ /年		ガソリン 3,008 軽油 3,915 合計 6,923 kg-CO ₂ /年以下	ガソリン 2,993 軽油 3,895 合計 6,888 kg-CO ₂ /年以下	ガソリン 2,978 軽油 3,875 合計 6,853 kg-CO ₂ /年以下	
		3	建設廃棄物のリサイクル推進	建設副産物の分別・再資源化の実施	現場毎実施		現場毎実施 リサイクル率100%	現場毎実施 リサイクル率100%

環境方針項目	環境目標項目	基準値(8~7月) (2022年度実績)	CO2 換算係数	年度目標			
				2023年度	2024年度	2025年度	
全社合計 二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量	0.000	基準値に対し 0.5 %削減 6,037 kWh/年以下	基準値に対し 1 %削減 6,006 kWh/年以下	基準値に対し 1.5 %削減 5,976 kWh/年以下	
		6,067 kWh/年					
	2) ガソリン使用量の削減	ガソリン使用量	2.32	基準値に対し 0.5 %削減 ガソリン 4,497 L/年	基準値に対し 1 %削減 ガソリン 4,475 L/年	基準値に対し 1.5 %削減 ガソリン 4,452 L/年	
		ガソリン 4,520 L/年					
	3) 軽油使用量の削減	燃料使用量	2.58	基準値に対し 0.5 %削減 軽油 10,322 L/年	基準値に対し 1 %削減 軽油 10,270 L/年	基準値に対し 1.5 %削減 軽油 10,218 L/年	
		軽油 10,374 L/年					
	計(kg-CO ₂)	電力	0	電力	0	電力	0
		ガソリン	10,486	ガソリン	10,434	ガソリン	10,329
		軽油	26,765	軽油	26,631	軽油	26,363
		合計	37,251 kg-CO ₂ /年	合計	37,065 kg-CO ₂ /年以下	合計	36,693 kg-CO ₂ /年以下

※ 化学物質は使用していないので、環境目標は設定していない。

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数 : R3年度実績 リコージャパン株式会社 調整後排出係数0.000(kg-CO₂/kwh)

※ 建設業の購入電力・水の使用量・廃棄物量については、下記の理由のため把握が困難なため、目標及び数値化していない。

1、発注元の施設の使用

2、下請業者との契約条項による(下請業者の使用・処分のため)

※ 2011年 9月1日 KES・環境マネジメントステップ1 登録

2012年12月1日 KES・環境マネジメントステップ2 登録

2015年11月26日 エコアクション21 認証・登録

CO₂排出削減を目標とし活動を継続している。

※ * ガソリン使用量については、2022年の合計実績に1台増車した。

No	環境方針項目 環境目標項目	基準値 2019	目標値	CO ₂ 換算	具体的活動内容	責任者 担当者	実績評価項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年度計						
1	1) 電力 使用量の削減	電力使用量 7,565 <kWh/1年>	基準値の 3%削減 7,338 <kWh/1年以下>	2019 0.455	①休憩時の消灯 ②パソコンの時間外OFF ③空調の適温化 (冷房26、暖房22) ④エアコンのメンテナンス ⑤エアコン装置内熱利用	富田 浅沼	活動計画	①~③継続 ④計画実施																		
							進捗評価																			
							目標値	855	728	573	427	667	718	808	616	606	391	461	488	7,338						
							目標累計	855	1,583	2,156	2,583	3,250	3,968	4,776	5,392	5,998	6,389	6,850	7,338							
							実績値	580	469	388	385	504	578	873	633	468	369	392	428	6,067						
2) ガソリン 使用量の削減	ガソリン使用量 4,227 <L/1年>	基準値の 3%削減 4,100 <L/1年以下>	ガソリン 排出係数 2.32	①急発進・急加速の抑制 ②早目のアクセルOFF ③アイドリングストップ ④エアコンの使用制限	富田 相馬	活動計画	①~④継続																			
						進捗評価																				
						目標値	376	322	375	352	273	205	334	315	395	235	463	455	4,100							
						目標累計	376	698	1,073	1,425	1,698	1,903	2,237	2,552	2,947	3,182	3,645	4,100								
						実績値	267	235	275	172	220	193	235	156	243	159	210	224	2,589							
3) 軽油 使用量の削減	軽油使用量 9,535 <L/1年>	基準値の 3%削減 9,249 <L/1年以下>	軽油 排出係数 2.58	①急発進・急加速の抑制 ②早目のアクセルOFF ③アイドリングストップ ④エアコンの使用制限	富田 相馬	活動計画	①~④継続																			
						進捗評価																				
						目標値	1,141	693	1,141	901	1,006	678	755	715	704	542	509	464	9,249							
						目標累計	1,141	1,834	2,975	3,876	4,882	5,560	6,315	7,030	7,734	8,276	8,785	9,249								
						実績値	1,064	1,081	759	830	789	548	369	635	533	863	889	489	8,849							
CO ₂ 排出量 合計	3,442 9,807 24,600 37,849 <kg-CO ₂ /1年>	3,339 9,512 23,862 36,714 <kg-CO ₂ /1年以下>	電気 ガソリン 軽油	〔数値目標/実績〕	富田 相馬	活動計画	①~④継続																			
						進捗評価																				
						目標値	4,205	2,866	4,074	3,336	3,532	2,552	3,090	2,856	3,008	2,121	2,598	2,475	36,714							
						目標累計	4,205	7,071	11,146	14,481	18,014	20,565	23,656	26,511	29,520	31,641	34,239	36,714								
						実績値	3,365	3,334	2,596	2,540	2,546	1,862	1,497	2,000	1,939	2,595	2,781	1,781	28,837							
2	2) 廃棄物の 削減	廃棄物排出量 529 <kg/1年>	基準値の 3%削減 513 <kg/1年以下>	①分別表示 ②分別の徹底 ③裏紙使用で紙使用量 の削減 ④コピー終わりのリセット (分別チェックシート確認)	富田 赤木・奥住	活動計画	①~④継続																			
						進捗評価																				
						目標値	47	45	38	44	51	43	38	43	41	40	39	44	513							
						目標累計	47	92	130	174	225	268	306	349	390	430	469	513								
						実績値	46	43	38	42	49	42	37	43	41	38	40	43	502							
4	4) 水 使用量の削減 (節水活動)	水使用量 238 <m ³ /1年>	基準値の 3%削減 231 <m ³ /1年以下>	①節水表示 ②流しっぱなしにしない (状況チェックシート確認)	富田 赤石	活動計画	①~②継続																			
						進捗評価																				
						目標値	42		41		41		33		38		36		231							
						目標累計	42		83		124		157		195		231									
						実績値	36		31		38		35		39		37		216							

No	環境方針項目 環境目標項目		基準値 2019	目標値	CO ₂ 換算	具体的活動内容	担当者	実績評価項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年度計								
	建設業	1	施工時の 環境改善	環境に配慮 した建設重 機の使用	低騒音・低 振動・排ガス 対策の重機 使用	現場毎実施	①規制基準の遵守 と確認	富田	現場 指導	活動計画	①継続																		
進捗評価										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
目標値										1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
実績値										1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
達成評価										100%			100%			100%			100%			100%			100%				
2		二酸化炭 素排出量 の 削減	1)ガソリン 使用量 の削減	ガソリン使用量 2,849 <L/1年>	基準値の 3%削減 2,764 <L/1年以下>	ガソリン 排出係数 2.32	①エコドライブへの指導 <協力会社を含む>	富田	相馬	ガソリン	活動計画	①継続																	
											進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
											目標値	227	181	219	362	185	206	205	168	136	272	302	301	2,764					
											目標累計	227	408	627	989	1,174	1,380	1,585	1,753	1,889	2,161	2,463	2,764						
											実績値	266	0	0	282	62	124	136	60	63	47	65	198	1,303					
		実績累計	266	266	266	548	610	734	870	930	993	1,040	1,105	1,303															
		達成評価	42%			62%			51%			35%			47%														
	2)	軽油 使用量 の削減	軽油使用量 1,257 <L/1年>	基準値の 3%削減 1,219 <L/1年以下>	軽油 排出係数 2.58	①エコドライブへの指導 <協力会社を含む>	富田	相馬	軽油	活動計画	①継続																		
										進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
										目標値	122	0	0	88	139	0	41	0	32	42	55	700	1,219						
目標累計										122	122	122	210	349	349	390	390	422	464	519	1,219								
実績値										244	20	0	48	0	60	31	138	172	68	124	620	1,525							
実績累計	244	264	264	312	312	372	403	541	713	781	905	1,525																	
達成評価	216%			48%			467%			102%			125%																
CO ₂ 排出量	合計	6,610 3,243 9,853 <kg-CO ₂ /1年>	6,411 3,146 9,557 <kg-CO ₂ /1年以下>	ガソリン 軽油	〔数値目標/実績〕	富田	相馬	CO ₂ 排出量 kg	目標値	841	420	508	1,067	788	478	581	390	398	739	843	2,504	9,557							
									目標累計	841	1,261	1,769	2,836	3,624	4,102	4,683	5,073	5,471	6,211	7,053	9,558								
									実績値	1,247	52	0	778	144	442	396	495	590	284	471	2,059	6,957							
実績累計	1,247	1,298	1,298	2,076	2,220	2,663	3,058	3,553	4,143	4,428	4,899	6,957																	
達成評価	73%			58%			108%			69%			73%																
3	建設廃棄 物のリサイ クル推進	建設副産物 の分別・ 再資源化の 実施	協力会社へ の指導	現場毎実施	①リサイクル対応の 処理施設との契約 ②マニフェストの確認	富田	現場 責任者	資源 分別	活動計画	①②継続																			
									進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
									目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12				
									実績値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12				
達成評価	100%			100%			100%			100%			100%																

二酸化炭素排出量		基準値 2019	目標値	対象項目	実績評価項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年度計	
CO ₂ 全社合計	CO ₂ 排出量	3,442	3,339	電気	CO ₂ 排出量 kg	目標値	5,047	3,286	4,583	4,402	4,320	3,029	3,672	3,246	3,407	2,861	3,441	4,979	46,271
		16,416	15,924	ガソリン		目標累計	5,047	8,333	12,915	17,318	21,638	24,667	28,339	31,585	34,991	37,852	41,293	46,272	
		27,843	27,008	軽油		実績値	4,611	3,386	2,596	3,319	2,690	2,304	1,893	2,495	2,529	2,880	3,252	3,840	35,794
	47,702	46,271	合計	実績累計		4,611	7,997	10,593	13,912	16,602	18,906	20,798	23,294	25,823	28,703	31,954	35,794		
	<kg-CO ₂ /1年>	<kg-CO ₂ /1年以下>		達成評価		82%			71%			67%			88%			77%	

定期的確認評価コメント ・取組状況の確認 ・目標の達成状況	建設業 軽油増加 受注量の増加			全項目において順調			事務所 水使用増加 事務の人員増加に伴う 建設業 軽油増加 受注量の増加			事務所 水使用増加 事務の人員増加に伴う 廃棄物 ガソリン増加 受注量の増加 建設業 軽油増加 受注量の増加					
	その他 取組 おおむね順調						その他 取組 おおむね順調			その他 取組 おおむね順調					
〔是正処置・予防処置 の要否〕	報告			報告			報告			報告					
	否			否			否			否					
	処置			処置			処置			処置					
確認・承認印				入角	富田	今元	入角	富田	今元	入角	富田	今元	入角	富田	今元
代表者	環境管 理責任	推進 責任者													

〔作成方法〕

1. 本表は、環境目標設定(取組項目、標準値、目標値)に沿って、毎年作成する。
2. 具体的活動内容及び推進責任者・担当者は、職場内検討により設定する。
3. 活動内容は、月々の具体活動予定事項を線表で表示する。
4. 是正処置・予防処置は、達成評価で、3ヵ月または、2ヶ月の累計が目標値に対して120%以上の場合(下表については100%未満)で、代表者または環境管理責任者が必要と判断した時に行う。

達成評価	建設業	1	施工時の環境改善(指導)
		3	建設廃棄物のリサイクル推進(指導)

5. 是正処置・予防処置が要の場合は、「問題点是正/予防処置報告書」を作成する。

〔記載内容〕

1. 建設業の1 公害防止対策・2 資源化の推進と廃棄物の削減の評価は、実施で1 未実施0とする。
2. 電力使用量については、2021年11月15日(12月分)より リコージャパン株式会社の、「再エネスタンダード100」に変更しCO₂排出量は、0です。

環境経営目標の達成状況

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	基準値(8~7月) (2019年度実績)	CO2 排出 係数	2022年度				
					目標値	実数値	%	評価	
事務所	1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量 7,565 kWh/年	0.455 0.000	基準値に対し 3%削減 7,338 kWh/年以下	電力使用量 6,067 kWh/年	83%	○
			2) ガソリン使用量の削減	ガソリン 4,227 L/年	2.32	基準値に対し 3%削減 ガソリン 4,100 L/年以下	燃料使用量 ガソリン 2,589 L/年		
			3) 軽油使用量の削減	燃料使用量 軽油 9,535 L/年	2.58	基準値に対し 3%削減 軽油 9,249 L/年以下	燃料使用量 軽油 8,849 L/年	96%	
			計(kg-CO ₂)	電力 3,442 ガソリン 9,807 軽油 24,600 合計 37,849 kg-CO ₂ /年		電力 3,339 ガソリン 9,512 軽油 23,862 合計 36,714 kg-CO ₂ /年以下	電力 0 ガソリン 6,006 軽油 22,830 合計 28,837 kg-CO ₂ /年		
廃棄物収集運搬業	2	廃棄物の削減	ゴミの分別・再利用・再資源化	廃棄物排出量 529 kg/年		基準値に対し 3%削減 513 kg/年以下	廃棄物排出量 502 m ³ /年	98%	○
	3	水使用量の削減	節水活動	水使用量 238 m ³ /年		基準値に対し 3%削減 231 m ³ /年以下	水使用量 216 m ³ /年	94%	○
	1	施工の環境改善	環境に配慮した建設重機の使用 <低騒音・低振動・排ガス対策の重機使用>	現場毎実施		現場毎実施 100%	現場毎実施 100%	100%	○
建設業	2	二酸化炭素排出量の削減	1) ガソリン使用量の削減	燃料使用量 ガソリン 2,849 L/年	2.32	基準値に対し 3%削減 ガソリン 2,764 L/年以下	燃料使用量 ガソリン 1,303 L/年	47%	○
			2) 軽油使用量の削減	燃料使用量 軽油 1,257 L/年	2.58	基準値に対し 3%削減 軽油 1,219 L/年以下	燃料使用量 軽油 1,525 L/年	125%	
			計(kg-CO ₂)	ガソリン 6,610 軽油 3,243 合計 9,853 kg-CO ₂ /年		ガソリン 6,411 軽油 3,146 合計 9,557 kg-CO ₂ /年以下	ガソリン 3,023 軽油 3,936 合計 6,957 kg-CO ₂ /年	73%	
3	建設廃棄物のリサイクル推進	建設副産物の分別・再資源化の実施	現場毎実施		現場毎実施 リサイクル率100%	現場毎実施 リサイクル率100%	100%	○	

	環境経営方針項目	環境経営目標項目	基準値(8~7月) (2019年度実績)	CO2 排出 係数	2022年度			
					目標値	実数値	%	評価
全社 合計	二酸化炭素排出量の 削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量	0.455	基準値に対し 3%削減 7,338 kWh/年以下	電力使用量	83%	○
			7,565 kWh/年		6,067 kWh/年			
		2) ガソリン使用量の削減	ガソリン使用量	2.32	基準値に対し 3%削減 ガソリン 6,864 L/年以下	燃料使用量	57%	
			ガソリン 7,076 L/年		ガソリン 3,892 L/年			
		3) 軽油使用量の削減	燃料使用量	2.58	基準値に対し 3%削減 軽油 10,468 L/年以下	燃料使用量	99%	
			軽油 10,792 L/年		軽油 10,374 L/年			
全社 合計(kg-CO ₂)	電力 3,442 ガソリン 16,416 軽油 27,843 合計 47,702 kg-CO ₂ /年		電力 3,339 ガソリン 15,924 軽油 27,008 合計 46,271 kg-CO ₂ /年以下	電力 0 ガソリン 9,029 軽油 26,766 合計 35,794 kg-CO ₂ /年	77%			

※本環境目標設定表は、毎年度見直すものとする。

※化学物質は使用していないので、環境目標は設定していない。

※購入電力の二酸化炭素排出係数 : 2018年度実績 東京電力エナジーパートナー(株) 調整後排出係数0.455(kg-CO₂/kwh)

電力使用量については、2021年11月15日(12月分)より リコージャパン株式会社の、「再エネスタンダード100」に変更しCO₂排出量は、0です。

※環境目標項目の評価は、

目標達成100%以下で達成「○」、100%を超える場合は、未達「×」と評価する。

但し 建設業のNo.1.公害防止対策・No.3資源化の推進と廃棄物の削減の評価は、取り組みがあれば、達成「○」取り組みが無ければ未達「×」と評価する。

環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況及びその評価

2022年度8月～7月

作成年月日:2023年8月31日

No	環境方針項目・環境目標項目	具体的活動内容	取 組		
			結果・評価	次年度の内容	
事務所	1 二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	①休憩時の消灯 ②パソコンの時間外OFF ③空調の適温化 (冷房26、暖房22) ④エアコンのメンテナンス ⑤エアコン装置内熱利用 (冷暖房終了時間前に熱電源停止)	① 実施出来ていない箇所があったので、指導をした ② 昼休みのOFFが、来ていない人がいたので指導をした ③ コロナ対策の為、換気に伴うドア・窓の開閉をし設定温度の見直しをした ④ エアコンを使用前に掃除を行った ・前年度の指摘事項 劣化に伴う破損個所有→買換え設置6/10 ・エアコンと併用して扇風機を使用した ⑤ エアコンを終業時前に停止した。(15分前) 対象期間、リコージャパン(株)の再エネルギーに変更CO2排出→0 空気の排気口のシートの随時取替をした	①②③④⑤は、 継続して行う 結果②については、 個別指導を行う 排気口内の掃除
		2) ガソリン使用量の削減	①急発進・急加速の抑制 ②早目のアクセルOFF ③アイドリングストップ ④エアコンの使用制限 (エコドライブ4項目チェックシート記入)	①、②、③、④は運行毎のチェックシート確認項目で チェックし実施した ・採点方式により、乗車毎のエコドライブを実施する事ができた	①②③④を、継続 して行う
		3) 軽油使用量の削減	①アイドリングストップ ②エアコンの使用制限 (エコドライブ4項目チェックシート記入)	①、②採点方式により、乗車毎のエコドライブを実施する事ができた ・仕事量の増加に伴い軽油使用量も多くなった(5月～7月) CO2排出削減の年間での目標は達成した 79%	①②を、継続 して行う
廃棄物収集運搬業	2 廃棄物の排出量の削減	ゴムの分別・再利用・再資源化促進	①分別表示 ②分別の徹底(分別チェックシート記入) ③裏紙使用で紙使用量の削減 ④コピー終わりのリセット(コピーミスの防止)	① 実施できた ② 毎月チェックシートで確認し実施できた ③ 各自で裏紙使用箱に入れて実施できている ④ 「リセット表示」でリセット忘れが無くなった 年間での目標は達成した 98%	①②③④を、継続 して行う
		3 水使用量の削減	①節水表示 ②こまめな止水 (状況チェックシート記入)	①、②は実施できた ・各自の意識も高く、節水が徹底された ・仕事の増加に伴い事務所への出勤率と外部雇用者1名増加で 水の使用量が増加した (2月～7月) 年間での目標は達成した 94%	①②を、継続 して行う
		1 施工時の環境改善	環境に配慮した建設重機の使用 <低騒音・低振動・排ガスの対策の重機使用>	①低公害車使用の確認	①公共工事のため低公害車使用の義務があり目標は達成した 年間での目標は達成した 100%
建設業	2 二酸化炭素排出量の削減	1) ガソリン使用量の削減 <協力会社への指導/現場毎>	①エコドライブ10のすすめ エコドライブ普及連絡会の10項目	①協力会社へは会議で指導(現場毎)を実施しおおむね 実施されている(車両・重機等は、協力会社の持込)	①を、継続 して行う
		2) 軽油使用量の削減 <協力会社への指導/現場毎>	①エコドライブ10のすすめ エコドライブ普及連絡会の10項目	①協力会社へは会議で指導(現場毎)を実施しおおむね 実施されている(車両・重機等は、協力会社の持込) 建設業の受注量の増加に伴い自社車両の使用が増加した (8月・9月 3月～6月) CO2排出削減の年間での目標は達成した 73%	①を、継続 して行う
	3 建設廃棄物のリサイクル推進	建設副産物の分別・再資源化の実施	①リサイクル対応の処理施設との契約 ②マニフェストの確認	①公共工事のため建設資材の再生資源使用実施の義務あり ②マニフェストの確認・実施 年間での目標は達成した 100%	①②を、継続 して行う

代表者による全体の評価と見直し・指示 結果報告書

見直し実施日	2023年8月31日 (<input checked="" type="checkbox"/> 定期見直し <input type="checkbox"/> 臨時見直し)				
見直し対象期間	2022年8月1日 ~ 2023年7月31日				
出席者	代表者、環境管理責任者、部門責任者				
前回の指示への取組結果	<p>①前回指示 水素エンジン車両の導入 水素ステーション等の近隣周辺情報の収集 昨年同様に周辺の水素ステーションは、杉並か八王子片倉となり増加する様子が見えない。 従って現段階では、導入に対して時期早々である事が判明した。</p> <p>②トラック車両を2台入替をし、排ガスレベルを低減及び燃焼基準を向上させた</p>				
見直しに必要な情報	<p>①環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施・運用状況、その他評価結果 (環境経営管理計画書・問題点是正/予防処置報告書による)</p> <p>②環境経営関連法規の遵守状況 (環境経営関連法規等の遵守記録による)</p> <p>③その他、外部からの環境に関する苦情や要望 (コミュニケーション記録・問題点是正/予防処置報告書による)</p>				
代表者による評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】(①、②、③等を踏まえて評価)				
	目標に対する環境経営活動結果も概ね達成できたと思う				
	【環境への取組が適切に実施されているか】(②等を踏まえて評価)				
		目標項目	活動計画 実施状況	目標達成 状況	目標・活動計画実施状況の評価(達成の場合:目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合:原因の明確化、次年度の目標や対応策)
	廃棄物 事務所 収集運搬 業	CO2排出量の削減	○	○	電気は再エネルギーである。 目標を達成できた。 次年度も目標は継続する。
		廃棄物の削減	○	○	目標を達成できた。 次年度も目標は継続する。
		水使用量の削減	○	○	目標を達成できた。 次年度も目標は継続する。
	建設業	施工時の環境改善	○	○	目標を達成できた。 次年度も目標は継続する。
		CO2排出量の削減	○	○	目標を達成できた。 次年度も目標は継続する。
		廃棄物のリサイクル推進	○	○	目標を達成できた。 次年度も目標は継続する。
全社	CO2排出量の削減	○	○	本年も再エネルギーへの変更、活動等でCO2排出量の削減に大いにつながった。	
代表者による見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的な指示事項	【環境経営方針・環境経営目標】		変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	【環境経営活動計画・環境経営システム等】		変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	【環境関連法規等】		変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	【実施体制の見直し】		変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	【外部からの環境に関する苦情や要望】		変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	【総括】 会社全体のCO2削減が非常によく、目標値を大きく達成した。 今後は、さらに現実的な新たな新エネルギーを模索して導入する事を優先させる。 環境取組の変更の必要性は無いと考える。				

リコー再エネ電力供給証明書

昭和建設株式会社 様



**実質再生可能エネルギー100%の電力を
供給していることを証明いたします。**

※リコー再エネスタンダード100は、使用電力量（kWh）に対して非化石証書（再エネ指定）を用いて、
実質再生可能エネルギー100%及び二酸化炭素実排出係数をゼロにするメニューです。



ご提供内容

発行番号： RJ再エネ100-000083
（お客様識別番号 DCI0002445300）
メニュー名： リコー再エネスタンダード100
供給期間： 2022年11月15日 ～ 2023年11月14日
※供給期間中に解約した場合は解約日までの期間が対象となります

リコージャパン株式会社

<https://www.ricoh.co.jp/service/electricity/renewable>